

第3学年 音楽科学習指導案

日時：平成29年6月23日（金）4限
場所：音楽室

1. 題材名 音楽に込められた作曲者の思いを感じ取りながら聴こう。
教材：ブルタバ（モルダウ） 連作交響詩「我が祖国」から スメタナ作曲

2. 題材を貫くテーマ

音楽の特徴とその背景となる文化・歴史を関連付けて鑑賞する。

3. 題材について

① 生徒について

音楽を形づくっている要素の働きから生まれる曲想と情景を関わらせて鑑賞する学習として「春」「魔王」を、また構成や背景となる文化と関連付けて理解し鑑賞する学習として「フーガト短調」「交響曲第5番ハ短調」をこれまで扱ってきた。それらの学習によって音楽を感覚的に感じ取ったり、曲想の変化を理解して音楽を形づくっている要素の変化を捉えて、感想を言うことはできるが、曲想を表す言葉が思いつかず、音楽の特徴をうまく言葉で表現できなかつたり、そこに込められた思いを感じ取ることに課題が残っている。そこで音楽の背景を関連付けて理解させることでより深く鑑賞できる力を育てたい。

② 題材構成について

「ブルタバ」は表現する情景によって音楽を形づくっている要素に変化があり、音楽の特徴や曲想を感じ取りやすい。また、スメタナが祖国を思い作曲した曲であり、音楽と歴史的な背景とが深く関わっているため、作曲者の思いを感じ取って聴くのできる題材であり、本学級の生徒の課題を克服する上で適していると考えられる。

③ 指導について

指導にあたっては、音楽を形づくっている要素の変化によって生み出される表現を聴き取る活動を通して、さまざまな情景や感情の表現を意識しながら鑑賞する学習を進める。そして自分で考えをまとめながら班で意見交流を行い、さまざまな捉え方を共有する。自分と異なる視点や価値観の意見を聞くことは、自分の思いと他者の思いをつなげ、音楽の味わい方を広げられると考える。

4. 題材の目標

- ・音楽を形づくっている要素の働きが生み出す曲想と時代背景を関わらせて理解し、作曲者の祖国への思いを感じ取ることを意識しながら、曲の良さや美しさを味わって聴く活動に主体的に取り組もうとしている。

【音楽への関心・意欲・態度】

- ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、背景と関わらせて理解し、作曲者の思いを感じ取って、根拠を持って批評し、味わって聴いている。【鑑賞の能力】

5. 題材の評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	音楽表現の 技能	鑑賞の能力
○音楽の特徴とその背景となる歴史との関連に関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしている。			○旋律、速度、強弱楽器の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら鑑賞している。 ○音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて解釈したり価値を考えたりして、根拠を持って批評し、鑑賞している。

6. 指導と評価の計画（全3時間）

時	ねらい	評価規準			重点	
		関心・意欲・態度	音楽表現の 創意工夫	表現の技能		鑑賞の能力
1	標題ごとにそれぞれの旋律、速度、強弱などの特徴を感じ取る。				旋律、速度、強弱楽器の音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら鑑賞している。	主に習得
2 (本時)	音楽の特徴や曲が生まれた背景を理解し、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞する。				音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて解釈したり価値を考えたりして鑑賞している。	主に習得
3	作曲者の思いや標題ごとの音楽の特徴など、これまでの学習を振り返りながら、この曲の紹介文を書くことができる。	音楽の特徴とその背景となる歴史との関連に関心を持ち、主体的に鑑賞しようとしている。				主に活用

音楽の特徴とその背景となる文化・歴史を関連付けて鑑賞する。

7. 本時の学習指導

① 本時の目標

音楽の特徴や曲が生まれた背景を理解し、作曲者の思いを感じ取りながら鑑賞する。【鑑賞の能力】

② 学習課題

(1) 習得させること

- ・ 転調、強弱、速度、楽器の音色などの変化によって旋律の表情が変わること。
- ・ 旋律の表情の変化には作曲者の思いが込められていること。

(2) 予想される生徒のつまずき

- ・ 曲中の標題にとらわれて情景描写として捉えてしまう。

(3) 深化課題

- ・ 作曲者はこの2つの旋律にどんな思いを込めたのか考えよう。

③ 予習について

- ・ 教科書P. 32「楽曲について」を読んでくる。

④ 展開

	教師からの説明・課題提示	予想される生徒の反応	教師の働きかけ（・）と評価（※）
導入 （3分）	○前時の学習を振り返る。 ○学習課題の提示		
	音楽の特徴や曲が生まれた背景を理解して、作曲者の思いを感じとりながら鑑賞しよう		
教える （12分）	1. 説明 ○曲が生まれた背景を説明する。 ○「ブルタバを表す旋律」が発展して「幅広く流れるブルタバ」で演奏されることを説明する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作曲者について理解する。 ・ 当時のチェコの歴史的状況を理解する。 ・ 2つの旋律を聴き、ブルタバの主題が「ブルタバを表す旋律」と「幅広く流れるブルタバ」で演奏されることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作曲者や時代背景について知らせ、祖国に対する思いが込められている曲であることを理解させる。 ・ 調、強弱、速度、音色など鑑賞するポイントを指示する。
考えさせる （25分）	2. 理解確認 ○「ブルタバを表す旋律」と「幅広く流れるブルタバ」の旋律の特徴をペアで説明させる。 個人→ペアで説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの特徴を考えて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長調と短調、強弱、速度の変化、楽器など比較しながらそれぞれの特徴を考えさせる。
	3. 理解深化	作曲者はこの2つの旋律にどんな思いを込めたのか考えよう	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの旋律の特徴は作曲者のどんな思いが現れているのか、作曲者がブルタバの主題を変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の特徴を情景描写として捉えてしまう。 ・ チェコの歴史的状況を振り返らせ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長調と短調、強弱、速度の変化、楽器など2つの旋律を比較しながら作

	<p>させたのはどんな思いを込めた かったからか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人→班で考え、全体で共有する。 <p>○学習を振り返りながら鑑賞させる。</p>	<p>る。</p>	<p>曲者の思いを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この曲に自国が支配されている社会状況や、独立への願いが託されていることを理解させる。 <p>※音楽の特徴をその背景となる歴史と関連付けて理解し作曲者の思いを感じ取って鑑賞している。</p> <p>(観察・ワークシート) 【鑑賞の能力】</p>
<p>自己評価 (5分)</p>	<p>4. 自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価欄に、わかったこと、まだわからないことを記入する。 	

⑤ 板書計画
 (省略)